

お母さんの健康管理

お子さんの3歳児健診時の尿検査に合わせて、お母さんの尿検査を実施しています

●妊娠中に症状が出る人が多いのはなぜでしょう？

●妊娠はお母さんの腎臓にとっても負担がかかります

妊娠すると、赤ちゃんに十分な栄養を与えるために、母体の循環血液量は2～3割増加します。また、血液量が増加することで腎臓の老廃物処理作業が追いつかなくなると、血液循環が悪くなり、右の吹き出しにあるような症状が出やすくなります。

尿たんぱくや
尿糖が出る

むくみが強い

血圧が高い



●知らないうちに腎臓の機能が低下している可能性も

腎臓はガマン強い臓器です。はっきりした自覚症状がないまま、腎臓の機能が低下している場合があります。気づかずに放置していると、将来腎臓病に移行してしまう危険性もあります。

腎臓の機能低下を早期に発見するため、**お子さんが3歳の時に親子で尿検査を実施し、お母さんの体調の確認を行っています。** ●問合せ 健康福祉課 健康推進グループ ☎82-5541

2年に1度は子宮頸部がん検診を受けましょう ～白老町では無料託児をご用意しています～

●早期発見には 「子宮頸部がん検診」が有効です！20歳から受けられます！

●「子宮頸部がん」って??

子宮の入り口付近にできるがんを「子宮頸部がん」といい、これから出産をする世代に多いがんです。子宮頸部がんは、子宮を失う事もある深刻な病気で、出産の機会や命までも奪ってしまう可能性があります。

●早期発見には、がん検診が有効です！

初期の子宮頸がんには、ほとんど自覚症状がありません。腫瘍の進行とともに不正出血やおりものの異常が見られます。早期の発見には、子宮頸がん検診が有効です。

●町広報「げんき」・町ホームページをご覧ください

子宮頸部がん検診の日程・対象となる年齢は、健康カレンダー（4月広報折り込み）及び広報の記事・町ホームページでご確認ください。

●健診会場に「無料託児」をご用意しています！託児ができる会場は限られています。案内をよくお読みになって、お申込みください。

●問合せ 健康福祉課 健康推進グループ ☎82-5541



～ 生活習慣病予防のために、若い年代から健診を受けることが大切です ～

特に、妊娠高血圧症候群・糖尿病の既往がある方は、必ず健診を受けて腎臓病を予防しましょう。

※詳しくは健康カレンダーをご覧ください。 ●問合せ 健康福祉課 健康推進グループ ☎82-5541

～妊婦さんをサポート！～ ◆該当する方は下記問合せ先へご連絡ください！◆

「入院助産制度」のご案内

経済的な理由で、出産のための入院などが困難な場合に、助産施設での入院助産が受けられる制度です。（世帯の状況により、一部自己負担があります。）

対象となる世帯の要件や申請方法など詳しくは下記までお問合せください。

●問合せ 胆振総合振興局 社会福祉課 子ども子育て支援係 ☎0143-24-9845